

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田県にかほ市平沢字上町 22
名 称 ツナグスタンド Re プロジェクト
代表者 齋藤 さくら

ツナグスタンド Re プロジェクト

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

コロナ禍の影響でできなくなってしまった出来事や、生活や趣味活動を通して生きがいを取り戻そう！という Re:（もういちど）という想いに着目し、これからの未来に向かって前進できる人を増やすことが目標の事業です。SDGs の目標を掲げる中、それらの達成に向けて、関わる企業様を大切にしたい事業への取り組みや、環境に配慮した NUKU というオンストアの運営、そして痛みの支援活動に積極的に取り組むことで、持続可能な地域社会の実現や生きやすい人々に貢献する企業を目指しています。そして、2030 年を目標に、誰もが参加できるような"いたみ支援ネットワーク"を構築し、理解されづらい痛み医療・制度を支援していきます。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 (※初回記入不要。1 年ごとに要報告) 初回登録年月日：R4 年 6 月 17 日	関連する主な SDGs ゴール (最大 3 つ)
☐ 経済 ☒ 社会 ☐ 環境	福祉医療へのアプローチで社会に貢献	福祉活動、社会貢献活動に積極的に取り組んでいく。	慢性疼痛医療の支援や、そこに関わる人々への情報支援、啓発活動、孤独を感じない社会を構築する目標に向けて多職種と繋がり、協力し合うことができた。	4 8 17
☐ 経済 ☒ 社会 ☒ 環境	障害者差別を減らし、難病指定されていない病気への認知度を高める	痛みは目に見えないことから、社会的に理解されづらい課題が数十年続いている。この課題を解決していくための方策の一つとして、2030 年までにいたみ支援ネットワークを構築する。	難治性の慢性的な痛みを持つ方への差別や偏見、苦痛を社会的に救うために有益な情報を発信したり、心理カウンセラー資格を生かして相談体制を整えて活動している。啓発活動を継続して行っている。 https://pain-to.com	3 10 16
☒ 経済 ☒ 社会 ☐ 環境	つくる責任を持ってオンラインストア運営に取り組む	過度な包装を減らし、資源を有効的に繰り返し使うために、資源の節約・保全と効率的な資源利用を目指す。	ペーパーレス化や在庫の作り過ぎを防ぎ、必要な分を必要な人たちに届けるという具体的行動を通じて、自然環境並びに企業としてのつくる責任を果たしている。 個人でできる範囲で、できることに徹することができた。	9 12 14

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	